



蜂谷 和明さん  
Kazuaki Hachiya

〔岩下一区出身〕

はちや かずあき / 東京甲佐会  
会長。岩下一区出身。関東圏  
在住の本町出身者が集う本会  
に興味のある方は、事務局  
(03-3428-9988) までご連絡を。

## 同じふるさとを想う仲間が 集う東京甲佐会

「会員1人1人が甲佐町とのつながりを強く持ち、ふるさとの活力になるようがんばっていかれたら」と話すのは東京甲佐会会長を務める蜂谷和明さん（岩下一区出身）。同会は、関東圏在住の本町

出身者や本町に縁のある方々を会員とし、会員相互の交流とふるさと甲佐町への思いを温める場として結成され、今年で26年目を迎えた。現在、会員数は1000人を超え、30〜80代の幅広い年代が参加し

ており、年数回の交流会などで世代を超えた会員同士の交流を行っている。蜂谷さんは「県の立ち上げ時から参加している」と話す。

出身者が集まる県人会はよく聞きますが、町単位での集いは珍しいと思います。ふるさとを離れて生活する日々の中で、甲佐町の思い出話ができるこの会の存在は、ふるさととのつながりを感じることが

できる場で、私の心のよりどころにもなっています」と笑顔を見せる。

また、会では甲佐町を応援するため、あゆまつりや熊本甲佐10マイルロードレースへの協賛、熊本地震への義援金集めを行っている。「甲佐町の発展を少しでも応援していきたいと思っています。会員の中には、ご友人を甲佐町へ案内された方もおられます。私たちが、関東圏とふるさとの架け橋になっていければと考えています」

「初代会長の伊藤一男さんと当時の村上彪町長が立ち上げに尽力されたこの会も結成から四半世紀以上が経ちました。これからも年齢や職業に関係なく、甲佐町を想う仲間が集う場として次の世代へ引き継いでいきたいです。またこれから進学や就職で上京される若い方々にも、ふるさとを想う集まりが東京にあることを知っていただき、1度ご参加いただけたらうれしいです」と話す蜂谷さんは、同じふるさとを離れて暮らす仲間の参加を待っている。

広報 こうさ

2019年（令和元年）10月号  
通巻603号